



学長
荒井 貴史

尾道市立大学は、瀬戸内の十字路として交通の要衝である尾道市に立地して、これまで地域と共に発展して、特長・特色ある教育を実践して参りました。それは、先人達が努力して築いてきた尾道という地域での高等教育機関としての歴史と伝統を基盤としております。本学は、最高学府として社会からの負託に応えつつ、本学の理念である「知と美」の探究と創造によりさらに学問領域を発展させるとともに、その成果を学生教育に展開して次世代に伝達しております。また、公開講座等により地域社会にも還元しております。

本学は、経済情報学部経済情報学科、芸術文化学部日本文学科、芸術文化学部美術学科の2学部3学科と大学院の経済情報研究科、日本文学研究科、美術研究科の3研究科からなる規模としては小さな公立大学ですが、中国・四国地域を中心としながら、全国各地から本学で学びたい(尾道で学びたい)学生が集まっております。そうした意欲ある学生たちは、各教育課程で学修者本位の教育を通して専門分野の所定単位数を修得することで、学問の研鑽を積んで行きます。そして、本学のディプロマ・ポリシー (DP) で示している以下の3つの学修成果を達成して、企業や地域から求められる有為な人材として社会に羽ばたいていっています。

(知識・技能)

DP1：幅広い教養と専門的知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。

(思考力・判断力・表現力)

DP2：専門的知識・技能を活用した思考を通して、課題の発見や解決、表現の探究に取り組むことができる。

(主体性)

DP3：豊かな人間性と幅広い視野をもち、主体的に問題解決や社会における実践に取り組むことができる。

優秀な学生を社会に多く送り出すことは、公立大学である本学のミッションであることは言うまでもありません。さらに、尾道の地域で学んだ卒業生・修了生が、それを国際社会や地域での活動で「強み」に出来るように、すなわち「尾道での学びを誇れる大学」となるように努力しております。そして、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご協力とご支援を賜りながら、公立大学として本来のミッションを遂行するとともに、「地域と共に育つ大学」でありたいと思います。



副学長
前田 謙二

高校までの勉強ではすでに答えのある問題を如何に早く正解するのが重視され、暗記中心の反復練習でした。しかし、皆さんが大学を卒業して社会に出れば、未解決の問題が山積みです。たとえば、会社に入社したとして新製品の開発を担当したとしましょう。どのような商品を開発すれば売れるのかという問題に正解があるわけではありません。会社は何十年も新製品を開発していても、実際に売れる新製品をなかなか作ることはできません。このように社会では、正解のない課題を何年も考え抜き、いろいろと試してみても、工夫することが求められます。特に、インターネットやAIの進歩などを考慮すれば、単なる知識の暗記では、今後必要とされる人材にはなれないでしょう。

では、学生は大学で何を学ぶ必要があるのでしょうか。高校までのような正解のある問題を早く解く練習ではなく、社会で必要とされる正解のない問題へ対処できる練習を行うことが必要になります。つまり、自分で長く考え続け、人の意見を聞き、何らかの解決策などを見つけ出す練習が必要になります。そのためには、常に「なぜ」と疑問を持つことがスタートになると思います。

本学では学生が演習などで卒業論文や卒業制作等を完成させることになります。この演習などは教員と学生との距離も近く、特に社会に出て必要な力を養うことができる場になっています。是非、社会で使える力を本学で身につけて下さい。



副学長
桜田 知文

尾道は中世の開港以来、「北前船」の寄港する瀬戸内随一の良港として繁栄しました。また、その繁栄により尾道には多くの豪商が現れ、お寺の建立や茶園と呼ばれる別荘・庭園を競うように整備し、箱庭的都市が生み出されました。

明治時代には山陽鉄道が開通し、1999年には瀬戸内しまなみ海道、2015年には中国横断自動車道が全線開通し「瀬戸内の十字路」が完成しました。

しまなみ海道は、温暖な気候を利用しての柑橘の栽培が盛んで、また世界有数のサイクリングコースでもあります。

また、尾道は「坂のまち」「文学のまち」「映画のまち」としても知られ、最近ではアニメやゲームの聖地としてや、「猫のまち」としても有名になりました。

尾道はコンパクトな街です。街がとても身近です。昔から続く祭りや、近年始まったイベントも多く、それらに参加する学生も沢山います。またコンパクトな尾道だからこそ出来る事は沢山あります。地元企業とのコラボレーションや商品開発など、尾道には大学での授業だけで終わらせるのではなく、学んだことを実践する場が、たくさん用意されています。

尾道にはドキドキワクワクが詰まっています。受動的な大学生活でなく、能動的に大学や街を活用することが肝要で、有意義な4年間になることと思います。

＜教育：培う尾道市立大学＞

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間的触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

＜研究：拓く尾道市立大学＞

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不断の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

＜社会貢献：活かす尾道市立大学＞

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

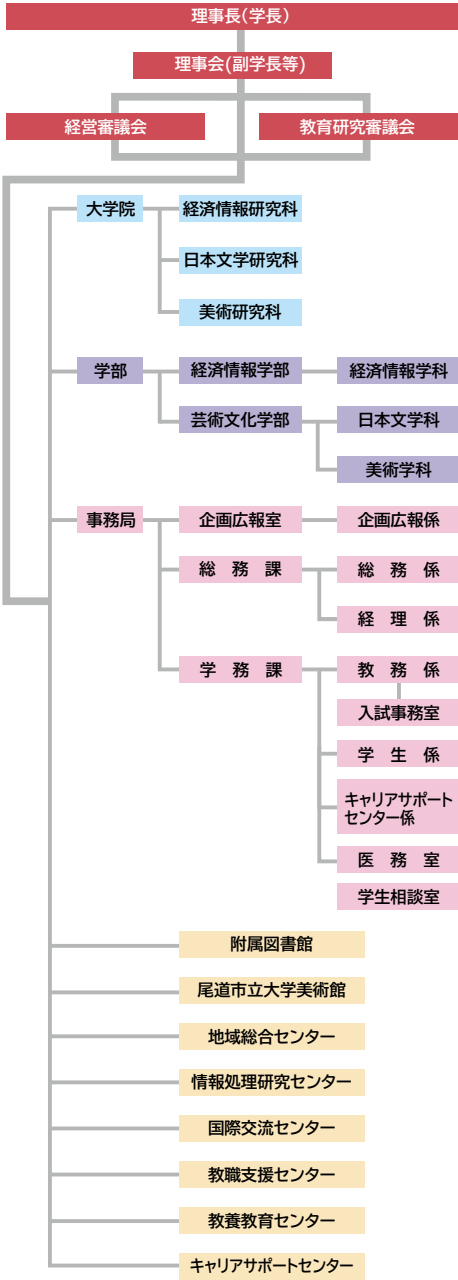
[知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

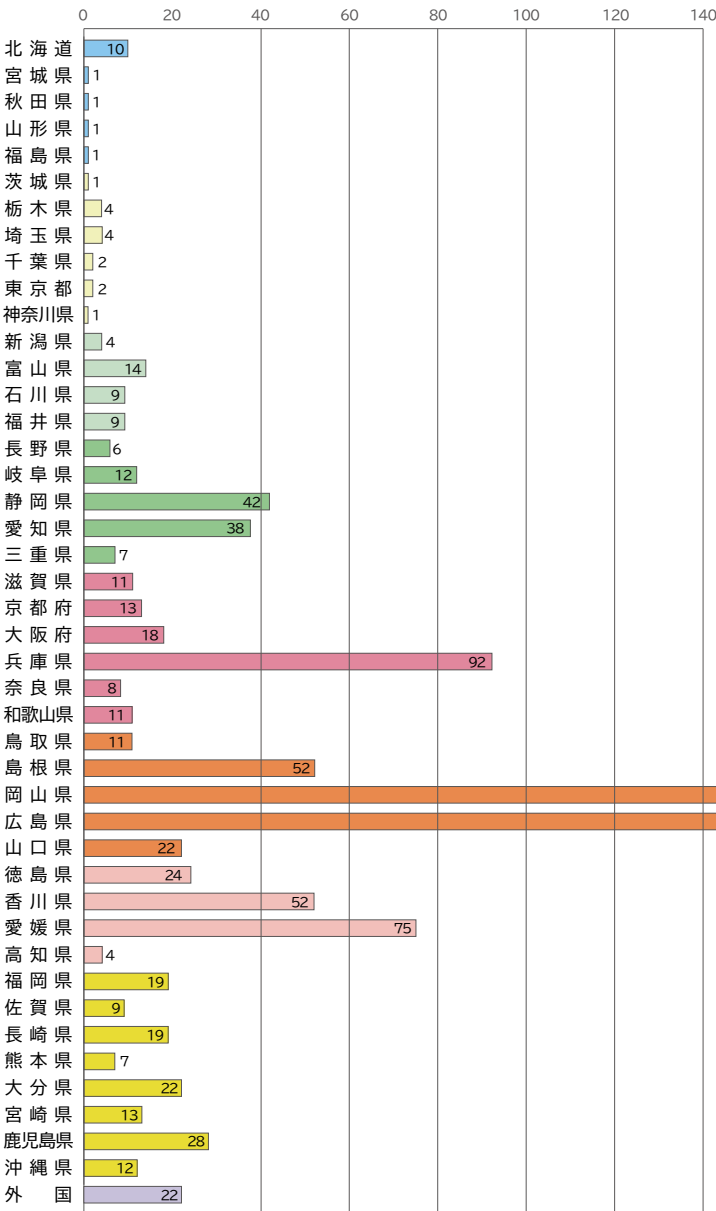
[主体性・多様性・協働性]

- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断的努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。



出身地別在籍者数(学部生)



2025年度尾道市立大学入学試験結果

学 部					
●学校推薦型選抜					
学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	70	124	124	70
	日本文学科	15	48	48	15
芸術文化学部	美術学科	12	54	54	13
	計	97	226	226	98

●一般選抜 前期日程					
学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	100	208	189	136
	日本文学科	30	112	108	39
芸術文化学部	美術学科	23	65	65	25
	計	153	385	362	200

●一般選抜 後期日程					
学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	282	73	56
	経済情報学科 Bコース	15	201	58	40
	合計	30	483	131	96
芸術文化学部	日本文学科	5	161	54	10
	美術学科	15	122	75	20
計		50	766	260	126

●私費外国人留学生選抜					
学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	10	9	6
芸術文化学部	日本文学科	若干名	4	2	0
	美術学科	若干名	0	0	0

●第3年次編入学試験					
学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科	若干名	0	0	0
芸術文化学部	美術学科	若干名	4	4	2

大 学 院					
研究科・専攻		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科		8	1	1	1
日本文学研究科		6	0	0	0
美術研究科		12	16	16	10
計		26	17	17	11

教養教育科目

教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。

地域・キャリア系科目

尾道学入門／地域の伝統文化(囲碁)／キャリア形成入門／キャリア形成演習／ビジネスキャリア入門

人文科学科目

人生の哲学／生命倫理／論理学／東洋思想／心理学入門／日本の文学／文章表現法(学術的文章)／文章表現法(実用的文章)／美術表現入門／美術の歴史と鑑賞／演劇の歴史と鑑賞／文化財学／思考とデザイン／Topics in Language, Culture, and Society／日本文化史(経済情報)／瀬戸内文化論(経済情報)／民俗学Ⅰ(美術)／民俗学Ⅱ(美術)／メディアグラフィックス概論(日本文学)／編集とデザイン(日本文学)

社会科学科目

現代社会と人間行動／法学概論／日本国憲法／世界歴史の流れ／日本歴史の流れ／政治学入門／社会思想史／現代の経済学／社会保障入門／社会学入門／メディア論／文化社会学／民法入門／簿記入門(芸術文化)／ファイナンシャル・プランニング(芸術文化)

自然科学科目

教養数学／物理科学入門／地球と宇宙／物質の世界／生物科学入門／科学技術の進歩／情報科学入門／建築環境論／数学の基礎と歴史／情報と倫理(芸術文化)／統計学Ⅰ(芸術文化)／人間工学概論(経済情報・日本文学)／数理・データサイエンス・AI入門

健康スポーツ科目

健康スポーツ学／健康スポーツ実習Ⅰ／健康スポーツ実習Ⅱ／野外スポーツ実習

外国語科目

総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／TOEICⅠ／TOEICⅡ／応用英語Ⅰ／応用英語Ⅱ／上級英語Ⅰ／上級英語Ⅱ／ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ／フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ／中国語Ⅰ／中国語Ⅱ／日本語Ⅰ／日本語Ⅱ／海外語学実践Ⅰ／海外語学実践Ⅱ

経済情報学部

経済情報学科

専門基礎科目	経済学入門Ⅰ(ミクロ)	経済学入門Ⅱ(マクロ)	経営学入門	簿記入門	商業簿記	工業簿記	情報とコンピュータ				
	情報活用基礎Ⅰ	情報活用基礎Ⅱ	ファイナンシャル・プランニング	統計学Ⅰ	統計学Ⅱ	基礎数学Ⅰ	基礎数学Ⅱ				
共通専門科目	財政学Ⅰ	財政学Ⅱ	金融論Ⅰ	金融論Ⅱ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ	経営学総論	経営情報論	情報と倫理		
	経済経営情報実習	多変量解析	民法	企業法	商法	行政法	外国語講読Ⅰ	外国語講読Ⅱ	ビジネス英語		
演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	専門演習Ⅰa	専門演習Ⅰb	専門演習Ⅱa(卒業研究)	専門演習Ⅱb(卒業研究)	特別演習Ⅰ	特別演習Ⅱ	特別演習Ⅲ	特別演習Ⅳ	
	特別演習Ⅴ	特別演習Ⅵ									
経済系	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ	環境経済学	計量経済学	経済学史	経済史	日本経済史	地域経済史	
	産業組織論	日本経済論	社会政策	社会保障	国際経済学	国際金融論	公共経済学	地方財政論	アジア経済事情		
経営系	経営組織論	マーケティング論	経営戦略論	経営管理論	企業論	国際経営論	経営史	租税論Ⅰ	租税論Ⅱ	会計学概論	
	経営分析論	財務管理論	税務会計論	管理会計論	財務会計論	監査論	原価計算論	製品開発論	国際法	消費者行動論	
情報系	プログラミングⅠ	プログラミングⅠ実習	プログラミングⅡ	プログラミングⅡ実習	機械学習と人工知能	情報基礎理論	マルチメディア論	ネットワーク科学	情報ネットワーク		
	情報システム設計論	情報システム設計実習	データベース	ビッグデータ活用	CGと画像解析	ビジネスとデータサイエンス	情報セキュリティ	システム監査とITマネジメント	情報と職業		
職業指導系	職業指導										

日本文学系

芸術文化学部

日本文学科

学部共通科目	芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論							
日本文学系	日本文学概論	日本文学史Ⅰ(上代)	日本文学史Ⅱ(中古)	日本文学史Ⅲ(中世)	日本文学史Ⅳ(近世)	日本文学史Ⅴ(近代)	日本文学講読Ⅰ(上代)	日本文学講読Ⅱ(中古)	日本文学講読Ⅲ(中世)	日本文学講読Ⅳ(近世)	
	日本文学講読Ⅴ(近現代)	日本文学講読Ⅵ(近現代)	日本文学講義Ⅰ(上代～中世)	日本文学講義Ⅱ(近世)	日本文学講義Ⅲ(近現代)	日本文学講義Ⅳ(近現代)	日本文学特殊講義				
日本語学系	日本語学概論	日本語表現法	日本語史	日本語学講義Ⅰ(古典語)	日本語学講義Ⅱ(現代語)	日本語学講義Ⅲ(古典語)	日本語学講義Ⅳ(現代語)				
中国欧米文学	中国文学概論	中国文学講読	中国文学講義	欧米文学概論	欧米文学講義	比較文学					
関連科目	日本歴史概説Ⅰ	日本歴史概説Ⅱ	美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ	書道Ⅰ	書道Ⅱ
	民話研究	民俗学Ⅰ	民俗学Ⅱ	古文書学	文芸創作入門	文芸創作特別演習	情報処理演習	フィールドワーク	日本文学のための英語	言語学講義	日本文学と現代思想
演習・卒論	古典文学基礎演習	近現代文学基礎演習	日本語学基礎演習	中古文学専門演習a	中古文学専門演習b	中世文学専門演習a	中世文学専門演習b	近世文学専門演習a	近世文学専門演習b	近現代文学専門演習Ⅰa	近現代文学専門演習Ⅰb
	近現代文学専門演習Ⅱa	近現代文学専門演習Ⅱb	現代語学専門演習a	現代語学専門演習b	古典語学専門演習a	古典語学専門演習b	言語学専門演習a	言語学専門演習b	中国文学専門演習a	中国文学専門演習b	
	欧米文学専門演習b	欧米文学専門演習b	文芸創作専門演習a	文芸創作専門演習b	国語教育学専門演習a	国語教育学専門演習b	伝承文学専門演習a	伝承文学専門演習b	卒業論文(構想・準備)	卒業論文(制作)	
学部共通科目	芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論							
専門基幹科目	美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ	デザインⅠ	デザインⅡ	デザイン論	
	美術解剖学	空間造形論	図法及び製図	金工演習	写真(映像)演習	木工演習	塗装法演習	壁画技法演習	テンペラ画技法演習	版画制作演習	
基礎造形科目	デッサン基礎実習	構成実習	彫刻	総合基礎実習							
専門実習科目	日本画	日本画実習Ⅰ	日本画実習Ⅱ	日本画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
	油画	油画実習Ⅰ	油画実習Ⅱ	油画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
	デザイン	デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作					
関連科目	文化財保存学概論	人間工学概論	情報機能論	書道	古文書学	メディアグラフィックス概論	編集とデザイン	情報処理演習	言語学講義		

Campus Life

キャンパスライフ

有意義な学生生活のための
さまざまな支援制度を備えています。

奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内についても、随時お知らせしています。

●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金（無利子） 第二種奨学金（有利子）

●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円（若干名）

●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学修意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。また、国の「高等教育の修学支援新制度」も対象です。

チューター制度

指導教員（チューター）を中心に経済情報学科では10人程度、日本文学科・美術学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取得した学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

学生相談（カウンセリング）・健康相談

自宅から離れての新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事などについて、保健師・看護師が常駐する医務室にお気軽に相談に来てください。また、公認心理師／臨床心理士によるカウンセリングを受けることもできます（予約制）。

下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科3年

古川 智晴

香川県立坂出高等学校 出身

私は相対的に数学が得意だったため、理系出身です。将来の進路を考える中で、私が高校生だった頃は、COVID-19の影響でリモートワークが進んだり、観光業の不振で経済が停滞したり、その結果倒産した会社の話がニュースで流れたり、とそれまでとは大きく変わってしまうかのような世の中でした。そこで、社会に出た後に携わる企業・会社のこと、お金の絡んだ経済のこと、情報のことなど、何か役に立ちそうなことを学べそうだと思うことが、本学を受験したきっかけの一つです。

尾道市立大学は小さな大学です。少人数で受講する授業も充実していて、中でも特別演習という授業では、専門性の高い内容を学んでいます。私は産業連関分析や企業のM&Aなどを学びましたが、他にも人工知能と古文書を結び付けたり、観光に関するDXといった研究もしているそうです。これらの授業は少人数なので、先生に質問しやすい環境があるのも勉強に最適だと思います。

大学に入ってからできた友人は、出身が岡山、香川、広島、宮崎などバラバラですし、高校までの勉強内容も違っています。私は簿記は苦手なので、商業科出身の同級生に助けてもらっています。反対に私は彼女に数学を教えています。お互いに足りないところを補足しあえるのは、文系や理系、普通科や商業科出身の様々な学生が揃う本学のいいところだと思います。勉強も頑張りますが、息抜きでパーティをやったり、温泉やライブに行ったりして仲良く過ごしてます。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	商業簿記				
2限	文章表現法 (学術的文章)	経済政策Ⅰ	財務会計論	生物科学入門	マクロ経済学Ⅰ
3限	特別演習Ⅲ		財政学Ⅰ	経済情報論	金融論Ⅰ
4限	工業簿記	生産管理論			ミクロ経済学Ⅰ
5限					

この授業では、世の中の様々な商品が作られる際の生産過程を学びました。例えば、自動車産業が大量生産システムを起用している話や、グローバル化が進む中での話等を学びます。生産拠点をいろんな国に置くことで、円高とか円安とかの為替変動の影響を考慮できるそうです。

●大学の授業以外では、週に4回ほど、ホテルと塾でアルバイトをしています。ホテルでは受付をはじめとした全般的な業務に携わっていて、観光地でもある尾道では、週末には出身地や年齢も異なる様々な方々との出会いもあります。

経済の動向について基本的なことから学びます。例えば、最近モノの値段が上がってきていることを実感しますが、この現象をインフレーションと呼びます。働いてもらうお給料が増えるためにも必要なことだったりしますが、短期的には家計に厳しいですね。。。

※2年次(2024年度)前期の時間割です。



日本文学科3年生

尾崎 美雨

長崎県立大村高等学校 出身

私が本学の日本文学科を志望した理由は、古典が好きで中でも平安文学が好き、学びたいという漠然としたものでした。長崎県の高校に通っていたため、進学先は九州・山口県内を考えていましたが、当時頼りにしていた先生に「古典が好きなら」と本学を教えてくださいました。入学後、専門的な日本文学の学びが始まりました。大学生としての細かな読み方、これまでに発表された研究成果を基に新たに考えられる問題点、全く知らなかった作家・作品の存在など全てが新鮮で信じられないほど面白く、入学できて本当に良かったと思いました。平安文学を学べたら良いなと考えていましたが、他の時代の文学作品も広く学べ、ですが決して浅くなく、面白い!と感じる深い学びを得られます。もちろん、文学だけでなく、文法や方言、音声など日本語学の勉強も!

大学入学前から中古文学(平安文学)が好き!勉強したい!と考えていたため、思いを変えずに中古文学ゼミに進みました。ですが、どの分野も本当に面白過ぎて、時間があれば全てのゼミに入りたいです!(笑)。様々なことを知ることができるため国語が好きな私にはとてもぴったりの学科でした。

また、本学の良いところとして勉強のしやすさを挙げます。周囲が山に囲まれた静かな環境であることもありますが、先生の親しみやすさが一番大きいです。この点が最も勉強のしやすさに繋がっていると感じています。授業後に講義内容についてお話を伺いにいくと、どの先生も笑顔で接してくださいました。他の学科の先生も優しく、丁寧に接してくださいます。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	法学概論		博物館展示論		
2限		演劇の歴史と鑑賞	応用英語Ⅰ	博物館情報・メディア論	
3限				書道Ⅰ	
4限	日本語史	日本文学講読Ⅲ (中世)	中古文学 専門演習a		
5限			日本文学史Ⅱ (中古)		

「演習」と講義名に付く科目では、学生による発表形式の授業がよく行われます。この授業では先生が選んだ中古(平安時代)の文学作品から自分の興味ある箇所について研究し発表します。今年は「古今和歌集」が選ばれ、気になる和歌や好きな歌人について沢山研究を行うことができ、とても楽しかったです。

※2年次(2024年度)前期の時間割です。



●私は1週間を大学の授業とアルバイトをして過ごします。大学の近くに住んでいるため、時間を気にせず図書館で勉強したり、調べ物をしたりすることができ、平日のうちほとんどの時間を大学で過ごします。学生が自由に利用できる「翠明館」には自習室があり、遅い時間まで利用できるため、家では課題に集中できないかも……という時にはその自習室に向かいます。休日は喫茶店でアルバイトをしています。自宅から少し離れた場所ですが、尾道の観光スポットを巡り、散歩しながら向かうのはとても楽しいです!何もない日には向島まで足を延ばしたり、自宅で読書をしたりしています。

学芸員の資格取得を目指している学生が受講する授業です。日本文学科では、教員免許資格と学芸員資格の取得を目指すことができ、それぞれに単位修得が必須の授業があります。この授業では博物館・美術館で活用できる情報システムやメディアについて学修したり、国内外の博物館・美術館で行われている情報メディアを使用した取り組みについて学んだりすることができます。資格取得に関する授業の多くで、学芸員になったら……と将来働いている姿を考えます。

美術学科4年

村上 桃花

私は、1年次に油画、日本画、デザインのすべてを学べるカリキュラムに魅力を感じ、本学に入学しました。それぞれの課題に取り組む中で、これまで経験のなかった技法を用いた作品制作を行い、その技法ならではの魅力を実感しました。また、異なる専攻の学生たちと共同で作品を制作することで、お互いの創作活動に良い影響を与え合うことができました。

2年次からはデザインコースを選択し、その中でもグラフィック・アドバタイジング専攻に進みました。本学のデザインコースで特に大きな課題の一つが「地域プレゼンテーション」です。この課題では、地域活性化を目的に、自身の出身地や尾道をテーマとした制作を行います。地域の魅力をどのように引き出せるかを考え、同じコースの学生や先生と試行錯誤を重ねながら作品を仕上げていきます。さらに、実際に尾道で活躍するデザイナーの方々に作品を見ていただく機会もあり、課題の枠を超えた実践的な学びが得られます。私はこの課題を通じて、デザインが地域の課題を解決できることや、商品の魅力を引き出し目に留めてもらえるデザインの力を改めて実感しました。

尾道には美術館やギャラリーが多く、市の美術館からアーティストの個展まで幅広い展示が行われており、芸術に触れる機会が豊富にあります。また、展覧会やグループ展・個展を企画し、地域の方々や観光客に自身の作品を見てもらうことも可能です。こうした環境の中で、自由に芸術活動を続けられることを嬉しく思います。

広島県立尾道東高等学校 出身



● サークル活動

サークル活動ではアカペラ部に所属しています。学内での定期公演から外部でのアカペライベントに参加したりと活発に活動しています。今まで音楽をやってきたことがない人でも簡単に始められます。曲決めから本番まで部員全員で協力して、楽しく練習しています。

● 休日

休日は各地で開催される展覧会を見に行ったり、古着屋を巡ったりしています。また尾道ではイベントやお祭りごとが多いので、訪れてみると尾道ならではの魅力を知れるかもしれません。

※3年次(2024年度)前期の時間割です。

演習系の授業では設備が整った工房で作品制作を行えます。外部の講師の方から、より専門的な技術を学べる機会もあります。

一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1 限	版画演習	塗装法演習			
2 限	版画演習	塗装法演習			瀬戸内文化論
3 限					
4 限			実 習		
5 限			制作締め切り間際は月曜やその他の曜日の空きコマを利用して実習を行		



オヤマノカフェ(学生食堂)



オヤサイ定食 各種カフェドリンク ハンバーグ定食
オムライス チキン南蛮定食



ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

尾道市立大学にはさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動

アウトドア部
硬式テニス部
硬式野球部
サイクリング部
サッカー部

セパタクロー部
ソフトテニス部
卓球部
ダンス部
軟式野球部

バスケットボール部 (男子)
バレーボール部 (女子)
バレーボール部 (男子)
バドミントン部
ハンドボール部

フットサル部 (女子)
フットサル部 (男子)
モルック部

●文化系

学友会執行委員会
翠郷祭実行委員会

アカペラ部
裏千家茶道部

速水流茶道部
演劇部

軽音楽部
ゴミ部



写真部
吹奏楽部
推理小説研究部

陶芸部
ひかりアート研究部
美術史研究会

漫画研究部
文芸部
ラテン部

●同好会

朝活同好会
映画同好会
おのだい教室
おの 100 同好会
尾道書道会

OTT 総合格闘技同好会
考えるカラス団 333 同好会
芸術文化研究会
シーズンスポーツ同好会
シグマソサエティ同好会

将棋同好会
スイム同好会
天体観測同好会
ドローン同好会
ねこ同好会

平成文藝談話会
放送同好会
ボクシング同好会
eスポーツ同好会